



アナグマは時々野生であることを忘れている
(響の森スタッフのノートより)

氷ノ山フィールドノート

響の森周辺・登山道の自然情報記録よりピックアップして紹介します。



イモリの溝事件簿

ある日イモリの溝を歩いていると、設置した看板がバリバリと。誰の仕業だーと思ってよく見たら、クマ(犯人)の黒い毛が残されていました。

いろんな初鳴き

5/11 オオルリ
5/20 アカショウビン
5/21 ハルゼミ
5/25 モリアオガエル

イモリの溝のモリアオガエルの卵

今年 58個
去年 64個
来年も減らないか
少し心配。

花盛り

5/21 ルイヨウボタン
ユキザサ
チゴユリ
6/27 ツリフネソウ
7/ 1 オカトラノオ





特集

氷ノ越のコキンバイを守ろう

自生地でのコキンバイ



自生地での保護ネット



荒れた登山道



域外保存の様子



域外保存のコキンバイ



コキンバイという植物を知っていますか？ブナ帯の日当たりの良い林に生えるバラ科の小さな多年草で、5月頃に直径2cmほどのかわいい黄色の花を咲かせます。生育数が少なく、鳥取県レッドリストでは絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）、兵庫県ではAランクということで、両県で「絶滅の危機に瀕している種」に指定されています。また両県で分布しているのは氷ノ山の氷ノ越周辺のみで、しかも日本の分布の一番西の端（西限）にもなっています（主な分布は北海道や本州の亜高山帯です）。氷ノ山がもっと寒かった時代の生き残りかもと言われています。もし氷ノ越のコキンバイがなくなってしまうと、日本での分布域が大きく東に移ってしまうことになりま。ちなみに滋賀県、岐阜県でも準絶滅危惧種相当に指定されています。

西限のコキンバイが絶滅しないようにコキンバイを守ろう！と響の森では昨年度から鳥取県の補助を受け保護管理事業に取り組み、保護ネットの設置等を行っています（鳥取県コキンバイ保護管理事業計画 鳥取県指令第202200050993号）。コキンバイ減少の要因として、シカによる食害や登山中に人に踏み荒らされること（踏圧）が考

えられています。コキンバイはブナ林やチシマザサ群生地の縁、登山道のすぐ脇に生えています。赤倉山方面から氷ノ越への登山道は傾斜がきつくて木製階段が設置されていますが、近年はその木製階段が経年劣化で一部が壊れて歩きにくくなっています。それを避けようと登山者が階段の横を通り、コキンバイが踏み荒らされている可能性があります。保護ネットを設置することで、シカは食べることができない、登山者は踏み込むことできないようにしています。コキンバイが保護ネットのおかげで生育数が増えることを願っています。

また、響の森では別の手法として一部の個体を響の森敷地内に鉢植え移植して育て、増やすことにも取り組んでいます。これは域外保存と呼ばれる手法です。昨秋に氷ノ越から移植しました。環境が変わることで育つかどうか心配でしたが、積雪下で冬を越し、自生地よりも少し早く4月下旬にはかわいい黄色の花を咲かせました。その後地下茎を伸ばして新たな株が生えてくるなど順調に生育しています。今後は地下茎を切り離して別個体として育てる、株分けという手法で個体数を増やすことに挑戦してみたいと考

えています。自生地とは別の所でコキンバイを増やしてバックアップの体制を整えておき、自生地で減少したり最悪絶滅したりした場合にも移植をして再生できるようにしておくのです。

ただ私としては、域外保存はあくまでも最悪の事態に備えたバックアップであり、自生地において自力回復するのが理想だと思っています。そのためにも皆さんには登山道をはみ出さずに歩くよう注意して頂きたいと思います。これは氷ノ越に限らず、どの登山コースでも同じです。登山道を外れて歩くことで、その足下では動植物が傷ついているかもしれないということを意識しながら登山を楽しんで頂ければと思います。（高橋）

注）コキンバイは鳥取県希少野生動植物の保護に関する条例により採取等が禁止されています。違反すると1年以下の懲役または50万円以下の罰金になります。

Speacial Issue



イチ押し

響の森インタープリターのイチ押し情報

森のジオラマの生き物たち



当館のシンボルと言っても過言ではない、氷ノ山のブナ林を模した巨大なジオラマ。ツキノワグマ等の大型動物の剥製ばかりに目を奪われがちですが、実はものすごく小さい昆虫やサワガニも再現されています。是非ジオラマの細部のこだわりも探検してみてください！

Highly Recommended



クルー

クルー活動紹介

※クルー：響の森ボランティア

4月～5月の活動内容

- 観覧会お手伝い（8）
- 棚田プロジェクトお手伝い（2）
- 水槽掃除（1）
- 植物情報・写真提供（2）
- チョウの調査（6）
- ナイトミュージアムお手伝い（1）
- 三の丸登山下見・本番お手伝い（2）

（ ）は延べ人数



クルーを随時募集しています！
お問い合わせ・登録はお気軽に響の森まで！

水槽掃除協力者募集中！

お客さんに好評をいただいているエントランスの水槽。魚のお世話は楽しいけれど、手間がかかって大変。そんな時、助けてくれるのはやっぱりクルー。この日は水槽掃除と水替えを手伝ってくれました。ちょっとしたバックヤード体験もいいですね。おもいきりオープンスペースだけど。チョウの調査、お魚の世話を一緒にしてくれるクルー大募集です！

Activity Report

あんなこと、こんなこと



佐々木恭子氏
「お天気ワークショップ」
7/17（月）祝



ペットボトルの中にアルコール除菌スプレーをシュッと、ペットボトルをひねって戻すと雲ができる！釣り糸を垂らしたペットボトルの中に呼吸を入れ、周りからドライアイスでペットボトルを冷やすと釣り糸に雪の結晶ができる!! などなど簡単な実験を交えながら、雲や雪ができる仕組みなどを学びました。ペットボトルで雲を作るのは皆さん何度も楽しんでいました。



川のようにえん+（プラス）
7/23（日）



いつも遊んでいた川の草が伸びに伸びてしまい、新しい場所を探して若桜の支流をあちへ行ったりこちへ来たり。ようやく見つけた秘密の遊び場所のような川で、お魚を捕まえたり、ライフジャケットでぶかぶか浮かんだり。子ども達を尻目に、響の森魚部長は岩の隙間に手をつっ込みまくって、逃げ隠れしている魚を探して楽しんでいました。



スペシャル観覧会「昆虫観察」
8/5（土）



新型コロナの流行でしばらくお休みしていましたがやっと開催できました。トンボを手で持つのは怖かった子が自分で持てるようになったり、森の中は涼しいことに気づいたり、たくさんの初めてや気づきがありました。今年の夏は、暑すぎて昆虫が少ないと講師の田村先生。昔はなかった南方の虫が鳥取に入ってきているといった話もしていただきました。「温暖化」について、考えるきっかけにもなりました。

イベントカレンダー 2023年 9月～12月

9月	2日 ^土 10/29日 ^土	いつでも作れるコーナー ・キノコのキーホルダー	土日祝のみ
	2日 ^土	親子自然研究クラブ 「川の生き物観察」	
	10日 ^土	氷ノ山御来光登山	
	16日 ^土	インタープリターがサポート 「氷ノ山登山初級編」	
	17日 ^土	森のようちえん+(プラス)	
	24日 ^土	棚田プロジェクト「稲刈り」	
	30日 ^土 11/26日 ^土	秋の企画展「ヤマネの森の物語」 会場 響の森 イヌワシホール 料金 無料	
10月	1日 ^土	親子自然研究クラブ 「化石調査」	
	8日 ^土	わかさ氷ノ山・山フェス	
	14日 ^土	森のようちえん+(プラス)	
	15日 ^土	スペシャル観察会 「キノコの観察」	
	22日 ^土	紅葉の扇ノ山登山	
	28日 ^土	青空ブックカフェ	
	29日 ^土	棚田プロジェクト「収穫祭」	

11月	3日 ^金 12/24日 ^金	いつでも作れるコーナー ・クリスマス飾りづくり	土日祝のみ
	3日 ^金	秋企画 講演会 「かわいい森の動物ヤマネの不思議」 講師／(一社) ヤマネ・いきもの研究所 湊 秋作 氏 時間／13:30～15:00 申込優先	
	4日 ^土	森のヤマネガイド 「ヤマネのすみ森にでかけよう」 講師／(一社) ヤマネ・いきもの研究所 養場 葉留果 氏 時間／10:00～12:00 要事前申込	
	5日 ^土	親子自然研究クラブ 「巣箱調査」	
	12日 ^土	大人の森のようちえん	
	19日 ^土	たき火で焼き芋ワークショップ	
	23日 ^木	森のようちえん+(プラス)	
12月	26日 ^土	手仕事講座「味噌づくり」	
	17日 ^土	森のようちえん+(プラス)	

Recommended Books 森のオススメ本

ニホンヤマネ 野生動物の保全と環境教育

ニホンヤマネの第一人者が、ヤマネの生態、保全、環境教育などについて書いたヤマネの教科書的な本。最新の研究内容が書いてありながら、素人でも読みやすく、ヤマネについてもっと知りたい人におすすめ。



【著】湊秋作 【発行】東京大学出版会

Information

イチ押しイベント

青空ブックカフェ



山ならだれもいないし、静かで景色も良いから、とても気持ち良く本が読めそう！ということで企画してみました。お気に入りの本を持ってくるのもよし、響の森にたくさんある絵本や図鑑から選ぶのもよし。ハンモックに揺られたり、芝生にマットを敷いて、紅葉に染まる山々の景色と読書をお楽しみください。暖かい飲み物も用意するので、ホッと一息スローな山時間を過ごしませんか？

お問い合わせ TEL (0858) 82-1620

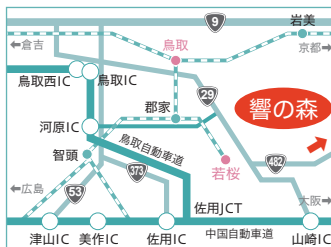


(一財) 鳥取県観光事業団

〒680-0728 鳥取県八頭郡若桜町つくよね635-175
TEL (0858) 82-1620 FAX (0858) 82-1612
[E-mail] info@hibikinomori.gr.jp
[HP] https://www.hibikinomori.gr.jp/

開館時間／午前9時～午後5時

	4月～9月	10月・11月	12月～3月
休館日	月曜日	月・火曜日	月～水曜日
夏休み	期間中は無休		
	祝日の場合は翌日休		



編集後記

夏の猛暑の影響で、紅葉の色づきやどんぐりの豊凶はどうなるでしょうか？(高橋) 青空ブックカフェとか収穫祭とか、化石調査とかヤマネ展とか新しいイベントが色々ある今年の秋。楽しみでもあり、忙しくもあり。元氣いっぱい突っ走るぞ～!! (岡田) 魚を素手で掴んで捕まえること(ヌードリング)の楽しさに気付いてしまった夏でした(佐々木)